

— パブリックコメント —

「熊取町第4次総合計画 基本計画(案)」に対するご意見と町の考え方

町では、「熊取町第4次総合計画 基本計画(案)」を策定中です。今回、案に対して皆様からいただいた意見の概要と町の考え方を次のとおり公表します。

◎意見聴取の概要

計画名	「熊取町第4次総合計画 基本計画(案)」
内容	「熊取町第4次総合計画 基本計画(案)」に対するご意見をお聞きます。 ※「熊取町第4次総合計画」は、住民にまちづくりの長期的な展望を示すべく、本町の総合的かつ計画的な行政運営の総合指標として策定するものです。 策定予定時期:平成30年3月 計画期間:平成30年～平成39年
期間	平成29年9月11日(月)～10月10日(火)
提出数	24人から、53件(20種類)の意見が提出されました

◎パブリックコメントの結果

区分	件数(種類)
1 基本計画(案)に対する意見	10件(10種類)
2 本町の施策等に対する個別・具体的な意見・要望	43件(10種類)

◎留意事項

○内容が類似するご意見については、同じ欄に記載し、町の考え方も集約して記載しています。

1 基本計画(案)に対する意見

No.	政策分野	ご意見の概要	意見数	町の考え方
1	総論	それぞれの政策分野において、関連する下位の計画がそれぞれあると思うが(例えば子育ての分野においては「子ども子育て支援計画」等)そういった計画をそれぞれ分野ごとに関連計画として記載することにより町の全体の施策が分かりやすく住民も理解しやすいのではないか。	1	ご指摘のとおり、各政策分野における個別計画を資料として基本計画に追加で記載します。
2	総論	成果をはかるための指標全体を一覧表にしたり、概略的なスケジュール感を示すなど文字の羅列ばかりでなくもっと全体を工夫して視覚的にも分かりやすくすべきではないか。	1	見やすさや読みやすさは大事であると認識しておりますので、総合計画を冊子としてまとめる段階において工夫してまいります。

3	08 保育・幼児教育	<p>現状と課題の中に、「入所児童の増加や施設の老朽化等に伴いより安心・安全で快適な保育環境の整備が必要となっている」と記載されているのに目標を達成するための施策の中には施設整備が記載されておらず、「入所児童数の推移と需要と供給のバランス等を総合的に判断し、適正な維持管理に努めます。」と悠長な記載になっている。</p> <p>現状においても、学童保育施設については、国の省令や条例基準を未だに満たしておらず、プレハブや狭い環境の中で基準でも必要とされる静養室もなく子どもたちは、不安な生活環境の中で放課後を過ごしています。基準を満たす施設整備は、一日でも早く実現すべき町の喫緊な課題の一つであると考えますが、基本計画においても、入所児童数の減少を待つのではなく積極的に施設整備に取り組むべきではないかと考えますが町はどのように認識されているのでしょうか。</p>	1	<p>現状と課題において記載しております「より安全・安心で快適な保育環境の整備」については、限られた財源の中で、保育に係る需給バランスを踏まえた適正な維持・管理を進めてまいります。</p> <p>具体的には、施設の必要規模や立地場所、整備に関する費用等を総合的に勘案しながら検討を進め、子どもたちが安心して過ごせるよう、施設整備に取り組んでまいります。</p>
4	08 保育・幼児教育	<p>どの分野においても文字の羅列ばかりで、厳しい限られた財政事情の中で計画を実現していくための重点施策が全く分からない。</p> <p>人口減少・少子化の時代の中で大都市近郊の自治体間競争において、子育て世代の定住、転入の促進は熊取町においても重点施策の一つではないかと考えます。基本計画の中においても子育て支援を重要施策の一つと位置づけ、もっと積極的に子育て環境の整備にとりくむべきではないか。</p>	1	<p>基本計画においては、熊取町の様々な政策分野を網羅的に掲載するとともに、各政策の基本的方向性を示しておりますので、特定の政策分野の重点化については、予算の一定の見通しを持つ必要があり、ご指摘の子育て世代の定住・転入の促進について、実施計画や予算編成において検討のうえ示してまいります。</p>
5	08 保育・幼児教育	<p>成果をはかるための指標においても「満足度」を上げるための分析が不十分でそのためのより具体的な指標が示されていない。そのため記載されている施策に具体性がなく何をしようとしているのか町の姿勢が分からない。</p>	1	<p>成果指標である満足度を上げるための施策については、基本計画で示す方向性に沿った取組を位置付けた実施計画において具体化してまいります。</p>
6	08 保育・幼児教育	<p>取り組むべき施策について全くスケジュール感がなく、町の本気度が伝わってこない。今後実施計画を策定するにしろ基本計画において、もう少し10年間における概略的なスケジュールや工程表を示さないと計画の実現は難しいのではないか。</p>	1	<p>基本計画については、基本構想で示した5つの施策大綱に沿って、31の政策分野を目的と手段の関係で体系化したものであり、具体的な取組とその工程については、3年毎に策定する実施計画において示してまいります。</p>

7	08 保育・幼児教育	<p>「多様な保育サービスの提供がもとめられている」とありますが、熊取町がどんな保育サービスを課題としているのか、具体性に欠けます。ここ10年の課題をどう考えておられるのかが知りたいです。</p> <p>「より安全・安心で快適な保育環境の整備が必要」とありますが、保育所、認定子ども園、学童保育所、それぞれ何を目標としているのかが分かりません。</p> <p>「入所児童数の推移や需要と供給のバランスを総合的に判断し、適正な維持・管理」とありますが、学童保育所については、『設置及び運営に関する基準条例』が満たされておらず、大規模化が現在も続いていると言う課題があります。「適正な維持・管理で」は、条例に基づいた運営とは言えません。</p>	1	<p>保育サービスの課題及び保育所、認定子ども園、学童保育所それぞれの目標の具体的な内容については、子育て政策の個別計画である「子ども・子育て支援計画」等において明らかにしております。</p> <p>また、ご指摘のとおり、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」において、「一の支援の単位を構成する児童の数は、おおむね40人以下とする」と規定しておりますが、一方で、「施行の際、現に存する事業所においては、当分の間、適用しない」との経過措置を設けており、現在、施設整備計画については、施設の必要規模や立地場所、整備に関する費用などを総合的に勘案しながら検討を進めているところです。今後も、子どもたちが安心して過ごせるよう、施設整備に取り組んでまいります。</p>
8	08 保育・幼児教育	<p>「子どもを生き育てやすい、保育・子育てサービスの充実」満足度が、現状57.5%は満足度としては低いと思います。「子育てするなら、熊取でしょ」「まちに愛着をもてる～」を掲げるのであれば、不満・やや不満と回答された42.5%の方々の声を整理して、具体的な施策や指標を検討する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>平成28年度待機児童数0は、現在も0ですか？福祉職賃金の改善などを行い保育士確保もしてください。</p>	1	<p>ご指摘のとおり、子育てに関する政策に対する満足度を高められるよう、保育現場での保護者の意見等を踏まえながら、効果的・効率的な施策を検討してまいります。</p> <p>また、指標の待機児童の数値は4月1日時点の状況です。</p>
9	08 保育・幼児教育	<p>町の財政状況が厳しくなっていく中でも『住み続けたい町』をめざして、特に熊取ブランドは継続してほしいと思います。この町の特徴である「子育てしやすい町 くまとり」は、今まで子育てしてきた世代の親たちにとって誇りです。子どもや孫の次世代にも引き継がれてほしいと願います。積極的な子育て環境を売りに、共働き家庭への支援は“活気のあるまちづくり”の基本と考えます。女性が働き続けられる町は、若者の転居条件の上位に上がり、また転出者を防ぐことにもつながると思います。</p>	1	<p>ご指摘のとおり、人口減少・少子高齢化社会が進行する中、定住・転入促進が重要との認識のもと、「子育てしやすい教育のまちくまとり」のブランドメッセージを引き続き発信するなど、若年世代の定住・転入を促進してまいります。</p>

10	08 保育・幼児教育	<p>「熊取で子育てをしたいと願う若者世帯が切れ目なく住んでいる。」をまちの姿に追加する。</p> <p>また、この計画は抽象的で数値目標も見えません。具体的で実行力のある計画を作成して取り組んでください。</p>	1	<p>ご指摘の点については、31のシテプロモーションの政策分野において、10年後のまちの姿として目標を掲げております。</p> <p>また、成果をはかるための指標をお示ししているとともに、具体的な事業については、基本計画で示す方向性に沿った取組を位置付けた実施計画において具体化してまいります。</p>
----	------------	---	---	---

2 本町の施策等に対する個別・具体的な意見・要望

No.	ご意見の概要	意見数	町の考え方
11	<p>ソフトボールチームは、現状では様々な要因により10チーム程度に減少し、当連盟主催の大会も4大会を町民グラウンドで行うのみとなり、他地域との交流に乏しくまた各チームの練習も小学校運動場を抽選の上に時間制限のもとで各々行っている状況である。当連盟の使命は、チームの増加はもちろんのこと各選手の意欲・技能の向上に後押しをしなければなりません。</p> <p>目標とする選手の意欲・技能向上の達成には、町民グラウンドでの活動以外にソフトボール等の専用グラウンドを町内に新設して頂き、練習の充実と町内交流に止まらず泉州地域から大阪府下においてソフトボールを通じてスポーツの熊取を目指す。</p>	1	<p>現場ならではの課題をご教示くださりありがとうございます。</p> <p>ソフトボール以外のスポーツにおいてもチーム数が減少しているとの声を聞いており、誰もがスポーツに取り組みやすい環境づくりが課題であると考えております。</p> <p>このような認識のもと、スポーツ環境整備を目標達成のための施策として位置付け、各種スポーツ施設・設備の適正な維持・管理に努めてまいります。</p>
12	<p>野球・ソフトボール・少年野球の大会等が開催できる、専用グラウンドが必要であり、近隣の市町では、そういったグラウンドが複数で整備されている。トの補助金を活用する等、財源の確保を考えた上で、新設を望むものである。</p>	1	<p>体育施設の充実につきましては、各競技団体等からもご要望をいただいているところですが、財源が限られた中で全てに対応することはできないことについてご理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>このような状況下で、各種スポーツ施設・設備の適正な維持・管理に努めてまいります。</p>
13	<p>競技性の高い、チームスポーツの利用者減少は、充実する必要がある。</p> <p>町民総合体育大会の参加者数の増加については、チームスポーツや、競技性の高いスポーツは、体験や、教室等を増やし、すそ野を広げていくこと。</p>	1	<p>町民総合体育大会参加者、特に、競技性の高いスポーツの参加者数の減少については、課題であると認識しており、競技人口のすそ野を広げるため、スポーツ少年団等の協力を得てチームスポーツの体験会等を実施しております。</p> <p>このような取組をはじめ、関係機関と連携しながら、誰もがスポーツに取り組みやすい環境づくりを進め、スポーツを通じた様々な地域の多様な年代の交流促進に努めてまいります。</p>
14	<p>超高齢化社会の到来にそなえ、現状3炉の町営斎場の火葬炉の増設が必要と考える。本町の火葬増加予想に対応する為にも、火葬炉の増設は、必要不可欠と考える。</p>	1	<p>近年における年間の火葬件数は360件程度で、ほぼ横ばいの状態が続いております。一日一炉あたりの火葬件数は近隣市町9施設の中では2番目に低い件数であり、増設が必要とは考えておりません。</p>

15	<p>外環の図書館前交差点を中央小学校方向へまがると小学校へおりていく急な細い坂道がある。朝は、子供がいても、スピードを出す車も多く、通学の時間帯だけでも、一方通行やスクールゾーンの設置を希望します。</p> <p>坂道途中の駐車場のじゃりが車の出入りで、道にまでひろがっていて、そこを歩く子供がよくすべってこけている。じゃりがひろがらないようにしてもらい、安全な道にして下さい。</p>	1	<p>ご指摘の道路については、平成27～28年度にかけて路側帯のカラー化や側溝蓋板改修を実施し、交通安全対策を図ったところで、一方通行規制については、以前に関係機関等と協議を行いました。実施には至らなかった経緯があり、スクールゾーンについては、既に位置付けられており、通行車両に対しても、路面標示や啓発看板設置により安全走行を啓発しているところです。今後も引き続き、更なる安全対策を検討してまいります。</p>
16	<p>中央学童保育所の駐車場がせまく、子供たちが出入りする門に面しているため、大変危険です。駐車場の拡大と門の位置をずらすなど、安全対策をお願いします。</p> <p>中央学童保育所前、ふれあい広場前の道路に信号をつけてほしい。事故の危険がある。</p>	2	<p>安全に施設をご利用いただけるよう、また、子どもの安全を第一に考え、施設整備に取り組んでまいります。</p>
17	<p>学童保育について、適正規模の実施に向けて、施設整備を行ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例基準の1クラブあたり40名の3クラブにしてほしい。 ・静養室を確保してほしい。 ・遊び場を確保してほしい。 ・子ども・指導員の休憩場所を確保してほしい。 ・エアコンを設置してほしい。 ・大規模の中央学童や、プレハブで対応している南学童と西学童の学童保育所の施設整備を実施計画に位置付けて頂きたいです。 	33	<p>「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」において、「一の支援の単位を構成する児童の数は、おおむね40人以下とする」と規定しております。</p> <p>既存の学童保育所においては、この規定を「当分の間、適用しない」との経過措置を設けておりますが、現在、施設整備計画については、施設の必要規模や立地場所、整備に関する費用などを総合的に勘案しながら検討を進めており、子どもたちが安心して過ごせるよう、施設整備に取り組んでまいります。</p> <p>ご意見については、今後の放課後児童健全育成事業の参考にさせていただきます。</p>
18	<p>継続して、安定した保育がしてもらえよう、指定管理者制度の見直しをして欲しいです。</p>	1	<p>学童保育所への指定管理者制度については、今年度から導入したものであり、平成33年度までの5年間、継続することとしております。当該期間中においては、熊取町と指定管理者が様々な協議を行いながら、適正な保育に取り組んでまいります。</p>
19	<p>教育、保育の分野では保護者のニーズに偏らず、子どもの育ちにとってどうなのか？と町として、考える視点を大事にしてほしい。</p>	1	<p>ご意見については、今後の教育・子育て施策の参考にさせていただきます。</p>

20	<p>子育て分野のアンケート結果の満足度が50%を超えないという現実にも驚きました。</p> <p>『子育てしやすい教育の街』というブランド戦略を行われ、確かに待機児童ゼロ、学童6年生まで、は一見魅力的に映りますが、結局子育て世代は教育の質を重視します。</p> <p>転入しても満足度が低ければ、その情報は拡散されず。子育て世代はマイナス要因に敏感です。</p> <p>熊取は、天王寺までは確かに35分程度ですが、梅田からは約1時間という立地です。その距離は、働く者にしたら、正直マイナスです。</p> <p>そこらいかにも魅力をもってもらえるか、子育て世代に人気の北摂に対抗できる「南は熊取！」というものを作って頂きたい。</p> <p>町内にせつかく大学や京大関連施設があるのなら、学生の受入れだけでなく、大学の教授・講師の方が小学校や中学校で授業をしてくれるというような出前授業があるのも面白いと思います。</p> <p>公立保育園・学校の充実を図ることはもちろんのこと、町だけでなく、民間の力を大いに活用したプラスアルファが必要だと思えます。</p>	1	<p>ご指摘のとおり、本町としても、人口減少・少子高齢化社会が進行する中、まちなぎわいを維持するうえで、子育て世代の定住・転入が重要であり、「子育てしやすい教育のまちくまとり」のブランドメッセージを引き続き発信するとともに、子育て・教育の質を向上させる必要があると考えております。</p> <p>また、本町の特長を活かした具体的な施策のご提案をいただきありがとうございます。今後の施策立案の参考にさせていただきます。</p>
----	--	---	--